

2019年度 4月定例教育委員会議事録

1. 日 時 平成31年4月22日(月) 13:30~16:15
2. 場 所 コミセンおの 205号室
3. 出席者 教 育 長 橋本 浩明
教 育 委 員 西村賢一・小林道美・河嶋栄里子・藤本真理
学術政策員 陰山 茂
事 務 局 岸本教育管理部長・小西教育指導部長
松本教育総務課長・松田いきいき社会創造課長
宮崎スポーツ振興課長・教育総務課 谷口

4. 会議内容

(1) 開会あいさつ 教育長

- ・出席者自己紹介
- ・新たな試みとして、テーマを決めて、現場の校長先生や各担当の先生方に定例教育委員会にご参加いただき、直接現場の声をお聞きするとともに、こちらからの質問にもお答えいただくことを考えています。こんなテーマについて聞きたい等ありましたら、次回までに考えておいていただきたい。

(2) 前回議事録確認 全委員一致で承認

(3) 議 題

議案第4号 小野市学校評議員の委嘱について(学校教育課)

小野市学校評議員の委嘱について、別紙のとおり承認を求めるものです。男性26名、女性25名の51名で、うち新規の方が男性6名、女性4名の10名です。

議案第5号 学校給食センター運営委員会委員並びに監事の委嘱について(教育総務課)

学校給食センター運営委員会委員並びに監事の委嘱について、別紙のとおり承認を求めるものです。

議案第6号 小野市文化財保護委員の委嘱について(いきいき社会創造課)

小野市文化財保護委員の委嘱について、別紙のとおり承認を求めるものです。提案理由は、小野市文化財保護条例第18条第2項で規定する委員の任期(2年)が、平成31年3月31日で満了となったためです。

(議題第4号から第6号まで全議案の承認を得る。)

(4) 協議事項

平成30年度事業評価について各課長が資料により説明を行い、教育委員の意見を聞く。

【学校教育課】

小中一貫教育推進事業について

小中一貫教育では、子どもたちの『自立』を目指しています。自立に向け『おの検定』で基礎学力や自ら考える力をつけ、『到達度テスト』や小学校高学年の『定期テスト』を導入し、学力が定着するよう取り組んでいます。保護者からは高い評価を得ています。

情報共有システムの構築について

校務支援システムは十分に利用されている状況です。『4号報告』や『報・連・相システム』につきましては、質を高めるよう取り組んでいます。4号様式による報告数は132、学校教育課からの市長『報・連・相』数は196。教育委員会内だけの情報共有でなく、他の課と連携した情報共有を進めているところです。

発達障害の支援事業について

支援方法を記した『支援カード』を導入したことにより、情報共有が可能となりました。小野市では、学校就学前の子どもたちの教育相談と支援体制が構築できており、保育所から高校までの支援体制が整ったと考えます。

【意見】

- ・全体的なことですが、資料はいただいているが、膨大な量ですので、意見を言うのは難しいと思う。
→今日は説明をいたしまして、教育委員さんに資料を改めてお送りし、後日ご意見をいただくことにさせていただきます。
- ・各事業、特に発達障害支援事業の取り組み状況が見えてこない。問題がどんな背景にあって、どんな事業をしたのかということを知りたい。
→発達障害事業については、経緯をお知らせしておらず、PRが不足していたように思います。次回詳しく説明させていただきます。

【教育総務課】

学校長寿命化対策事業について

市内学校施設を長く有意義に快適に使うための中期的な整備方針等を計画しました。平成30年6月に入札を行い、落札業者と各学校の先生方と面

談しながら老朽化状況調査を行いました。調査の結果、小野中学校を除く3中学校が特に老朽化が進んでいることが分かり、早急に対応していく必要が出てきました。また幼稚園2園については耐震診断を行っておらず、老朽化も進んでいるため、今後の方針を決定する必要があります。

今後の課題は、厳しい財政状況の中、長寿命化推進には、多くの費用が必要となることです。

学校施設整備事業について

校舎、体育館等学校施設は、経年劣化により、外観を含め施設全体の老朽化が進んでいます。学校トイレの洋式化については、平成28年度から順次計画的に、児童が快適な学校生活を送れるよう環境整備を行っており、大部小学校の15台のトイレ洋式化工事を行いました。また河合小学校の空調設備改修、河合中学校のプールのろ過機更新、市場小学校と特別支援学校のろ材入替、小野東小学校、河合小学校、来住小学校、小野中学校、小野南中学校、旭丘中学校のコンクリートブロック塀の改修等、計画どおり工事を完了することができました。

児童生徒の安全を確保するとともに、学校運営に支障のないよう、計画的に修繕工事を行う財源の確保が大切となっています。

【意見】

- ・幼稚園2園についての耐震診断について教えてください。
→幼稚園は、平屋の鉄骨建てで面積が小さく、法律上は耐震診断について義務付けられておらず、耐震診断を行っていません。

【いきいき社会創造課】

堀井城跡整備事業について

(取組状況と成果)

- ① 平成30年7月から平成31年2月にかけて堀井城跡整備事業の実設計画、また、調整池設計を平成31年1月から3月の期間で策定しました。
- ② その1造成工事を平成30年10月から平成31年3月の期間に、その2土管理設工事を平成31年2月から3月の期間で施工しました。
- ③ 駐車場、進入路用地地権者2名と売買契約を交わし、土地登記事務を3月に完了しました。

(評価(課題))

県の地域創生交付金は、平成30年度と平成31年度に限定された事業であるため、迅速かつ確実に平成31年度事業を執行します。また、20

20年春のオープンを予定しており、本施設の管理運営方策を検討します。

コミセンおの移転事業について

(現状及び方針)

平成28年12月末に市民会館が閉館し、今後の市民会館、コミセンおの取り壊しを見据え、平成30年10月に「新コミセンおの」移転先を福祉総合支援センターに決定しました。

(取組状況と成果)

- ① コミセンおの利用状況を調査し、各部屋の利用稼働率を精査し、利用行程表を策定することにより、コミセンおのの適正規模を把握しました。
- ② コミセンおの施設関連補助金について県と調整し、課題を解決しました。
- ③ コミセンおの移転先の8案を作成し、検討を進めました。

(評価(課題))

- ① 福祉総合支援センターには社会福祉協議会がそのまま残る予定であり、福祉総合支援センターで対応しきれない場合は他施設も併用します。
- ② 中央公民館機能を維持します。
- ③ コミセンおのサークル、小野地区地域づくり協議会、継続的な使用団体等の意向を調査し、建設的な提案を実施設計に反映します。
- ④ 新コミセンおへの備品の設置、管理方法について検討を行います。

図書館の将来ビジョン策定と改修事業について

平成8年の図書館開館から23年が経過し、施設の老朽化が進んでおり、施設改修が必要となっています。

(取組状況と成果)

平成29年度は、図書館施設の一部(空調一部、排煙窓)を改修し、将来ビジョンから図書館内での読書キャンプ施策を提案しました。

平成30年度は、図書館空調設備他改修工事の実施設計を平成30年8月から平成31年1月の期間で実施し、将来ビジョンから屋外読書コーナー整備を提案しました。

(評価(課題))

平成31年度は、カーボンマネジメント強化事業を活用して、図書館の空調、照明設備全ての改修を行います。また、工事期間中の2ヶ月間は、図書館を休館する必要があるため、その対応を検討します。

【スポーツ振興課】

ハートフルチャレンジ おの体力検定について

昨年同様、小学校においては、なわとび検定・水泳検定、中学校において

は体力検定を実施しています。過去数年の体力テストの全国平均と比較し、柔軟性が最も重要な課題であることから、昨年度から柔軟性の向上に特化した取り組みをしてきました。その結果、昨年度までより、柔軟性の値が向上してきました。ただトータルで見ますと、全国平均、県平均に追いついていないところもありますので、今年度も引き続き、柔軟性の向上をテーマに取り組みたいと考えています。

運動する子としない子の二極化が進む中で、子どもたちにスポーツや外遊びに触れる機会を創出することや、家庭で出来るような日常生活の運動の取り組み、体育授業等における工夫や改善等を検討する必要があります。

小野ハーフマラソン開催事業について

昨年は第5回の記念大会ということで、参加申込人数は5,723人と、過去最高を記録しました。また市民ボランティア数が505人となり、市民参画型のマラソン大会へさらに一歩前進することが出来たと考えています。また、新たな取り組みとして「歌手TEEさんのミニライブ」「フォトコンテスト」「県鍼灸師会協力によるコンディショニングブース」「女性に特化したおもてなし」等を行いました。ランネットというマラソン大会のウェブ上の評価につきましては、ハーフマラソンの全国トップ10に入る程の結果でした。ランナーへの安全対策を充実させるとともに、地元住民の不便を最小限に抑える交通規制の実施を目指します。また、新たに観光交流推進課とコラボ企画も考えています。

ハートフルウォーキング事業について

平成30年度は、天候にも恵まれ、桜つつみウォークや小野アルプス縦走ハイキングは非常に人気が高く、市外・県外からも多くの参加者がありました。今後も神鉄観光、観光協会、地域づくり協議会等の関係団体と連携しながら、魅力ある小野独自の色を出し、より魅力的なコース設定と新たな企画を立案していきます。課題等につきましては、委託している歩人会のメンバーの高齢化が進んでいますが、事務局主導ではなく歩人会主導での活動内容が増え、自主性の高まりを感じられました。新たなウォーキング事業の展開ということで中身等の改善を図りながら、予防医療の観点からも、ウォーキング事業に多くの方に参加していただけることを目的として計画を進めていきます。

[意見]

- ・リレーカーニバルで小野市の子が決勝に残っていたように思いますが？
→小学生男子が3チーム決勝に残りました。小学校では成績を残すので

すが、それで満足してしまうのか、中学校では他の部活に入ってしまうのが残念です。

- ・小野ハーフマラソンは教育委員会の管轄なのですか。小野市の大事業であれば、ひとつセクションを作れば良いと思います。
 - スポーツ振興課の担当には、学校体育と社会体育があります。学校体育を学校教育に入れる案、社会体育を文化の方に入れる案もありますが、組織としては、なかなか難しいです。
 - 学校体育だけであれば、スポーツ振興課でなくてもよいと思う。ハーフマラソンの実行委員会のメンバーは体育協会や地域づくり協議会のメンバーが大半です。

(5) 報告事項

各課長が資料により主要事業の進捗状況の説明を行い、教育委員の意見を聞く。

【学校教育課】

新たな教育改革に向けて（小中一貫教育のさらなる進展・英語教育）

英語教育と、プログラミング教育が新しく入ってきますが、文科省からその方向性と具体的な指導方法について、まだ周知徹底がされていない状況です。今後、明確な指示が出しだい、対応できるように準備しています。

特別支援の支援体制については、今後、主要事業の進捗状況に入れます。

小学校英語については、ALTとの打ち合わせを十分に行い、ALTと連動した専科教員の働きを進めていきたいと考えています。カリキュラムの作成が重要です。

スマートフォンの使用については、各校のPTA総会で、その弊害について、校長先生から伝えることになっています。全校、同じプレゼンで行うこととしています。

（今後の予定）

小中一貫推進研修会の実施について、河合中学校で4月24日行われ、今後の予定が決定されます。小野中学校は4月16日に実施されており、小野南中学校と旭丘中学校では3学期の段階で協議済みですので、4月は行われません。

到達度テストの結果活用について、支援ツールの活用について、各校には状況を確認しました。各校では支援ツールを使った補助学習に取り組んでいます。

（課題）

おの検定英語テキストについて

7月から小学校の教科書採択が行われ、8月に採択が終了します。その後

すぐに、テキストを作成する必要があるのかどうかについて、議論を重ねて行きます。絵をふんだんに使った教科書が出るようです。6月の定例教育委員会でお見せできると思います。

校務支援システムを運用した情報共有体制の強化と早期対応について

「報・連・相」及び「4号報告(いじめ・問題行動等)」での報告として、4月15日現在、中学校で1件上がっています。小中学校情報共有システムを深化するため、報告書記載方法研修会を実施します。

4月情報

教育施策の推進状況について（4月1日～16日）

子どもや家庭の状況報告が3件ありました。小学校の火遊びについては、消防本部が出動しました。中学校では生徒間暴力といじめです。

情報共有システムの運用管理状況については、3月27日の4号報告が遅れて届き、嚴重注意しました。先生方には校務支援システムの重要性の把握と、校長先生には情報の管理をしてもらうのが、今後の課題です。質の高い『4号報告』、効果的な『報・連・相』を考えていかないといけないと思います。

その他

課題を抱える児童生徒の状況については、現在のところ大きな問題はありません。子育て支援課と連携を取りながらサポートします。

休職職員1名は、4月に復帰しましたが、再び休職しました。県教育委員会に、教員の手厚い配置を求めていますので、現在、加配の先生が代わりに担任を持ちサポートできています。

[意見]

・到達度テストについて、各校の分析が付いているはずですが、各校の指導方針を把握し、私たちに教えてほしい。

→次回の教育委員会で詳しく説明させていただきます。

意識の高い学校は、小学校からの積み上げがされて、成果も出ています。小規模校はまとまりやすいですが、反対に1人か2人の点数によって、結果が左右されるというリスクもあります。各学校には、現実に本当に困っている問題を出してもらおうと思います。おの検定や、学校独自でされている学習法を、形骸化させないようにすることが大切だと考えています。

・スマートフォンの使用について、小野南中学校の参観に行ってみてまいりまし

た。SNSについての授業を7年生から9年生までされており、川島隆太先生の表をどの教室でも活用され、良かったと感じました。保護者の皆さんは、スマートフォンを子供に持たせたくないという感覚でいらっしゃるようです。

【教育総務課】

学校施設長寿命化対策事業について

小野南中学校実施設計業務委託について、4月17日に入札し、業者が決定しました。

今後は、学校施設台帳から、建物毎に建築年月、面積、構造等建物基本情報を整理し、強度等を測っていきます。さらに本校関係者と打ち合わせを行い、本年度の上半期は基本設計、下半期の来年3月19日までに、実施設計を作成する予定です。来年度は、4月から仮設校舎の建設工事をし、夏の終わり頃に引っ越し、現在の校舎を骨組みだけにして、長寿命化工事を完成させる予定です。その後、新しい校舎に再度引っ越し、仮設校舎の取り壊しを行います。体育館につきましては、来年度、実施設計を作成、2021年の秋から、長寿命化工事を行いたいと考えています。

グラウンドについては、2021年に実施設計、2022年に整備工事を完成させる予定です。課題としては、計画的な長寿命化工事を行うための財源の確保です。

学校施設整備事業について

来住小学校の空調機更新工事は、4月17日に入札しましたが、不調のため、今後再入札を行い、業者を決定します。小野東小学校のろ過機更新、中番小学校のろ材入れ替え、小野小学校、来住小学校、市場小学校、小野中学校の、ろ過装置修繕工事については、4月17日入札の結果、施工業者が決まり、工期が6月10日で、学校のプール開きに間に合う予定です。

4月情報

- ・下東条小学校遊具改修工事、小野小学校の東昇降口床改修工事とプール改修工事のすべてが、3月末までに完成しています。
- ・教育委員の行事として、兵庫県市町村教育委員会連合会定時総会が開催されます。日時は令和元年5月17日、場所は加西市健康福祉会館ラヴィかさいです。

[意見]

- ・小野南中学校の工事中の体育祭はどうなりますか。

→これから設計していくわけですが、グラウンドの面積に占める仮設校舎の面積により、現地で行うか他所で行うかが決まります。

【いきいき社会創造課】

堀井城跡整備事業について

(進捗状況)

- ① 実施設計 約1,500万円
- ② 調整池設計 約200万円
- ③ その1造成工事 約3,000万円
- ④ その2土管理設工事 約1,800万円

(今後の予定)

- ① その3城内と外堀整備工事の入札を5月に行います。
- ② その4駐車場、トイレ、倉庫等の建築工事の入札を6月に行います。
- ③ その5河合西町道路拡幅設計の入札を6月に行います。
- ④ その5進入路、道路拡幅等の工事の入札を9月に行います。

(課題)

平成31年度予算2.9億円の迅速な事業執行と来年春オープン予定の施設の管理運営方法です。

コミセンおの移転事業について

(進捗状況)

コミセンおのサークル36団体へアンケート調査を4月に実施しました。

(今後の予定)

新コミセンおの実実施設計の入札を6月に行います。

(課題)

福祉総合支援センター単独で対応出来なければ、他施設も併用して利用します。また、備品の整理と管理運営方法を検討します。

図書館空調設備他改修工事について

(進捗状況)

実施設計を平成30年8月から1月31日までの期間で、委託費621万円で行いました。2019年度での予算は約1.5億円です。

(今後の予定)

改修工事の入札を5月に行います。工事期間は6月から12月で、10月から12月初めまで図書館を休館します。仮設図書館は考えていません。貸出し期間の延長と、貸出し冊数を増やすことで対応します。

4月情報

事業報告

好古館にて1月26日から4月7日までの会期で『第8回ビッグひなまつり』が行われました。同じく好古館にて開催された『一柳（ヴォーリス）満喜子の遺したもの』との相乗効果で入館者が過去最高の1万1千76人ありました。

事業予定

6月8日土曜日に小野市短歌フォーラムがうるおい交流館エクラにて開催されます。平成2年にスタートし今年が第30回の記念大会になり、パネルディスカッションを開催します。

コーディネーターは永田和宏さん、パネリストは馬場あき子先生、宇多喜代子先生、特別ゲストとして、知花くららさんに出演をお願いしています。

テーマは『自分を表現する喜び』です。

【スポーツ振興課】

学校保健体育事業の推進について

柔軟性の向上の達成に向けて、今年度も5年生と8年生を対象に、体力テストを行います。同じ学年を追うのではなく、次の5年生と8年生が対象です。昨年同様、目標値を設定し共通理解の上、実施します。

「バランスの良い朝食摂取率」目標70パーセントに向けて、今年度も「ひまわりカード」による朝食摂取率調査を、学校に協力を得て継続して行います。

小野ハーフマラソン2019について

4月12日第1回代表区長会において、第6回大会協力を依頼するとともに、15日に市から4名が出席し、共催事業者のSICと大会概要について協議しました。5月23日には第1回実行委員会が開催される予定です。

小野ハーフマラソン2019開催日時は12月8日日曜日です。例年12月の第1週目の日曜日に開催していましたが、今年は大坂マラソンがある関係で、警備員の手配等を考慮し、今年度のみの措置としてこの日で承認を得ました。

ハーフ、10km以外の部門については現状の1.5kmに加え、3km部門を増設できるか検討しています。募集については、インターネットによる申し込みが6月1日から、チラシによる申し込みが7月1日からで、期間はいずれも9月30日までです。

新たな取り組みとして、観光交流課とコラボし、市内洋菓子店による新作スイーツ試食会を考えており、詳細を検討中です。

今後の予定として、神姫バスツアーズとの調整等があります。今年度も、たくさんの方々に参加いただけるよう共催事業者と話を進めていきます。

(6) 次回定例教育委員会予定

5月22日(水) 午後1時30分 205号室

(7) 閉会あいさつ 教育長